

住まいとまちの井戸端会議

参加無料
お気軽にご参加ください。

「地域ぐるみで大震災に備える」

～阪神・淡路大震災、東日本大震災から何を学び、伝え、実践するか～

主旨文

東日本大震災により東北地方は甚大な被害を受けましたが、東京都内も帰宅難民、交通網の麻痺、超高層問題、老朽建物や工作物の倒壊や破損等々、今まで懸念されていた課題が改めて浮き彫りになりました。

そうした課題を解決する一つで、基盤ともいえるものが地域力です。帰宅難民の受入れ、要援護者の救出や安否確認、東北地方へのサポート等々は今回の震災においても実践された例ではありますが、都内で直下型地震が起こった場合には更に避難所生活から、その後の復興へ向けた取組みまで様々な場面で地域力が必要な場面が生じます。

どのような場面でどんな地域力が必要となるのか、その為に今どのような備えが必要なのか、そして震災周縁都市は被害の大きい地域へ向けてどのようなサポートをすべきなのか、阪神・淡路大震災での経験談、そして現在進行中でもある東日本大震災の状況レポートを皮切りに皆さんで話し合いたいと思います。

パネラー報告

- 1 **永田宏和** 氏
(NPO法人プラス・アーツ理事長)
「被災時、避難所生活で求められる地域力と、地域防災向上のための取組み」
- 2 **真野洋介** 氏
(東京工業大学准教授)
「神戸市野田北部地区に学ぶ復興まちづくりの教え」
- 3 **松木康高** (象地域設計)
「東日本大震災による現地状況と、石巻市十三浜地区での結による復興の芽生え」

2011.5/21[土] pm2:00~4:00

2次会「京島防災まちづくり散歩」/3次会「映画上映会&交流会」企画有！参加者歓迎！



会場: **キラキラ茶屋**
墨田区京島3-43-6
京成宇都宮駅徒歩10分